

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: さいたま市春光園けやき	種別: 生活介護事業 生活訓練事業
代表者氏名: 金子清子	定員(利用人数): 87 (81) 名
所在地: 〒 337-0011 さいたま市見沼区宮ヶ谷塔1-280	Tel 048-687-8517

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【サービスの質の向上に関して】

法人が設置しているサービス向上委員会による利用者アンケート、職員向施設サービス自己評価、施設運営自己評価を年1回実施し、又、利用者からはけやき懇談会・個別面談等よりニーズの確認をしており、組織的に改善課題に基づく福祉サービスの質の向上に関する取組を実施しています。これらより課題を明確にして職員間で共有し、職員会議に於いてPDCAの展開をした上で次年度の施設取組計画にも反映させています。その他、職員は接遇改善研修やアンダーコントロール研修等も受講し、質の向上に取り組んでいます。

(2) 【地域との関わり・ニーズの把握】

地域との関わりに付いては、基本方針に基本的な考えを表明しています。地域や学校の行事の案内等は掲示板で利用者に提供しています。春岡地区文化祭や区役所に於いてのピアショップ等への参加に際しては、職員やボランティアが支援を行っています。園外行事(新緑会・収穫祭・買い物活動・外食活動等)を行なう事で、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けています。又、春光園けやきとして相談支援事業部門を有しており、地域の福祉ニーズの把握に努めています。併せて春岡地区の地域福祉行動計画の案画に参加しており、利用者からもアンケートや家族会・面談等よりニーズを把握しています。把握したニーズに基づいて、高齢宅配食事サービス事業や生計困難者に対する相談支援事業を実施しています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【年度の事業計画】

年度の事業計画は、主たる管理者が案を策定しその内容を職員に説明した上で確定されます。中期計画で重点課題として指定された「施設取組計画」の評価・見直しは年1回、義務付けられている為、遅滞なく詳細な報告にまとめられますが、「事業計画」の評価・見直しは年度末に行なわれ、計画で「やります」、報告で「やりました」方式が多い為、達成度や期間などは不明で実施状況の評価・見直しと言えるのか疑問が残ります。事業計画・事業報告は法人HPに掲載され公開していますが、うえみずとの共通部分の表記や混合の記述となっている為、分かり難い資料となっている様に感じます。又、事業計画は、家族会の開催の際に施設長より口頭で案内していますが、資料は行事予定のみで事業計画の配布はありません。

(2) 【目標管理制度のあり方】

「期待する職員像等」は基本方針に明示されています。制度として人事基準や貢献度評価基準は定められています。これに基づき目標管理制度が策定されています。職員は「自己管理シート」を作成し、年度始め(内容)・中間(進捗)・期末(達成度)と年3回、管理者による評価面談が実施され、制度としては成り立っています。しかし、人事考課としての制度でもなく、又、最終の評点も伝えない評価面談を行なっていますが、これでは時間を掛けて目標管理を行ない面談を重ねても、職員がどの様に頑張れば良いのか、自らの将来の姿を描くことが出来るのか、モチベーションをどの様に保てるのか、形だけの目標管理制度になっていないのか疑問が残ります。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、評価項目に沿った自己評価や評価機関の方との話し合いを通して、事業所が持つ強みや足りない点を改めて考える機会となりました。

今後、事業所における福祉サービスの質の向上を図るため、課題として提示していただいた点を職員間で共有し、改善に努めます。また、評価をいただいた点についてはより、質の高いものとなるように努力し、利用者や地域の方々に信頼していただける事業所づくりに精進いたします。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙